

慈雲

15号

2010/12

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町375番地

TEL/FAX (075)221-4616

zuirenji@nifty.com

http://www.zuirenji.net/

SinsyuuOotaniha

JiunzanZuirenji

Jiunkai



大目犍連
是吾親友
願興慈悲
授我八戒

【『觀經』の言葉】

大目犍連、

是吾親友。

願興慈悲、

授我八戒。

ビンバシヤラ王は口を漱いだ後、威儀を正してお釈迦さまにこう言われしました。「仏弟子の目連は私の親友です。願わくは慈悲のお心をもつて私に八戒を授けてください。」八戒とは日常の八種類の戒めのことです。ともすれば、戒律は自力だなどとないがしるにしますが、それはお念仏を小さなものに考えています。本当にお念仏の心をいだいたならば、その人の精神は仏魂になり、自ずから人から敬われ、信ぜられ、愛される徳が備わります。お念仏は心の戒律であります。

【帰敬式】

先日、平成二十二年十一月十四日に瑞蓮寺本堂にて、帰敬式を執り行いました。

帰敬式を受けられた方々の感想のお手紙を掲載いたしました。



馬場麻紀

ただ今、ご本尊の御前にて帰敬式を受け、法名をいただきました。

仏さまは、真実の教えに出会い、人として生まれてきたことの大切さに気づく様、私達に教えてくださっています。

今日からは、これまでの南無阿弥陀仏の灯を伝えていただいたたくさんの方々のご恩をおもい、命を授けてくださった両親に感謝をし、誠実で質素に暮らし仏の子どもとして灯を伝えていきます。



この度帰敬式を受けさせていただき法名をいただきました。

ご本尊のお前で御住職さまよりおかみそりをして頂き涙がこぼれました。

尼「澄潔」と云う私にはもったいない程の法名を頂き感謝して居ります。

法名の教えを大切に残りの人生を精一杯生きて行かなければと存じます。

合掌

有難度ございました。

松居富美子



伊豆本健三・久美

生きて法名を授かるなど私達夫婦には
思いもよらない事で御座居ました。

式が始まると体が緊張致しまして御院
様が後ろにお立ちになりまして「南無阿
弥陀仏」とお唱えくださりながら頭にお
かみそりをいれて下さった時…心が静
まり清らかな悟りの道を導いていただ
く不思議な仏様との又、お寺との御縁を
感じ受けさせていただけた事に「今日は
良かったね」「良かったな」と夫婦共に
感動致しました。

帰敬式に受け授与された法名にこめら
れた、宝珠と宝蘭の意味を深く受け留め
夫婦共に仏様のお弟子にさせていただ
けるご縁をありがたく深く感謝いたし
てる次第に御座居ます。

村田幸太郎・綾子

私は法名を頂くと云う事を簡単に思っ
ていましたが、帰敬式の儀式が進むにし
たがって、正信偈を唱え身体で受けとめ、
剃刀の儀を受け、儀式が終わろうとする
頃には自分自身が仏の弟子として身も
心もあずけたように感じました。

最後に法名を告げられた時は、この上な
く有り難く思いました。

妻は自分の法名「清明」しよつみやうは実父の法名
「清西」せいさい読み方は違いますが「清」が付
き、これからも親に守られているのだろ
うと喜んでいきます。

私「和順」妻「清明」の法名の意味に恥
じないように世間さま、子供達に迷惑を
掛けないように仏さまのもとで生活させ
て頂こうと思えます。
ありがとございました。



嶋口恭子

ご住職様よりお寺で「帰敬式」を行い
法名もその方にあつた名前を考えて付
けて頂けるとお聞きしていたので今回
お仲間に入れて頂き受式させてもら
いました。

静かな中ご住職様が順番におかみそり
を頭にあてていかれ私もときどきしな
がら受けました。

その後一人ずつ法名を頂きました。
私も自然にいつも音楽が流れている様
な中にいる様子と言つ意味の名前で今
の私にピッタリと喜んでいきます。

これからは仏の子としてこの気持ち
をお守りに楽しく毎日を過ごせたらな
と思っております。

今日はほんとうにありがとございま
した。





【お知らせ】

十二月十八日（土）午後二時より
お寺を楽しむ会を開催いたします。
別紙のご案内をくらんくください。

十二月二十日（月）午前九時より
仏具のお磨き^{みが}をいたします。

十二月二十日（月）午後六時半より
お勤めの練習を致します。
以前にお配りした緑色の勤行本をお持
ち下さい。
お持ちでない方は寺で用意しています。

~~~~~ . ~~~~~

瑞蓮寺のホームページができました。  
皆様一度ご覧下さい。

<http://www.zuirinji.net/>

## 【編集後記】

先日の報恩講の後、帰敬式が行われま  
した。  
厳かな中、皆様、緊張されたご様子で  
儀式を受けられ、お一人ずつ法名を授  
けられ、仏弟子となられた感動を受け  
止めておられるようでした。  
今回の『慈雲』はその時の様子を帰敬  
式を受けられた方々の感想をもとに構  
成しております。

また、年末の押し迫った時期ではござ  
いますが、十二月十八日（土）に「第  
二回 お寺を楽しむ会」を催させてい  
たきます。

今回も二部形式で行い、第一部は本堂  
を使った『すごろく』を予定しており、  
第二部は各自持ちよりの宴会を予定し  
ております。

童心に返っての楽しい遊びと、ざっく  
ばらんな会話を楽しみながらの宴会を  
ご堪能ください。

もちろん、第一部のみ、第二部のみの  
ご参加も構いません。  
お時間の許す限り、是非ともおいでく  
ださい。